

今年はお家で楽しめる  
いちご市のいちご  
—おうちでいちごのもり—



いちご市かぬまの恒例イベント「いちごのもり」。今年は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、例年のようなマルシェ形式から、自宅でも楽しめる内容に変更して、2月1日～3月14日まで開催されました。

期間中には、いちごのオンライン販売や、「かぬまふるさと大使」の似顔絵アーティスト・須田恵司<sup>すだけいじ</sup>さんによる似顔絵などの景品が当たるクイズコーナーを実施したほか、市内のいちごスイーツなどを取り扱う店舗を市ホームページで紹介。中でもクイズコーナーには全国から700を超える応募があり、オンライン開催でも盛況となりました。

自宅で春の訪れを…  
—WEB版 鹿沼おひな様めぐり—  
(市観光協会)

2月15日～3月7日まで、市観光協会のホームページ上で「WEB版鹿沼おひな様めぐり」が開催されました。

今年で12回を数えるはずだった「おひな様めぐり」ですが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止に。少しでも身近に春の訪れを感じてもらおうと本イベントが企画されました。

個人や商店が所蔵する<sup>きょうほびな</sup>享保雛や現代雛、つるし雛など市内23カ所のおひな様の画像や動画が公開され、パソコンなどの画面上で、手軽におひな様めぐりを楽しむことができる内容となりました。



故郷栗野への郷土愛を育む  
—「私が描く未来の栗野」  
作文・絵画コンクール—  
(あわのまちづくり協会)



2月17日、市役所で「私が描く未来の栗野」の作文・絵画コンクールの表彰式が行われました。

この事業は、市立栗野中学校の2年生を対象に、「栗野の未来」をテーマとした作文・絵画を募集するもので、鹿沼市と旧栗野町の合併10周年を記念して、平成29年から開始されました。

42点の応募作品の中から、各部門において、市長賞と会長賞として計4作品を選出。受賞者の4人の生徒たちは、主催のあわのまちづくり協会・池澤会長や佐藤市長などに向け、自らの作品の紹介を行いました。

## 高校生が丹精込めて育てた和牛 —鹿沼南高校が「和牛甲子園」で 優秀賞を受賞—



2月19日、第4回和牛甲子園(1月15日開催、JA全農主催)に出場した鹿沼南高校・畜産部の生徒たちが市役所を訪れ、優秀賞を受賞したことを報告しました。

本大会は全国の高校生が和牛肥育の取り組みを競い合うもので、今回、南高校は2頭の黒毛和牛を出品。肉質を評価する枝肉部門において初の入賞を果たしました。部長の小池さん(2年生)は、「牛にストレスを与えないように行うブラッシングや除ふんなど、力仕事も多く苦労したが、丹精込めて育て上げた」と思いを語りました。

## 自転車上手に乗れるかな？

—宇都宮ブリッツェン協力  
「補助輪はずし教室」—

2月23日、サンエコ自然の森・サッカー場の駐車場(下石川)で、本市とマザータウン協定を締結したプロサイクルロードレースチーム・宇都宮ブリッツェン協力のもと、「補助輪はずし教室」が開催されました。

自転車の補助輪が外れていない子どもたちを対象とした本イベント。初めは指導者に付いて行くのが精一杯だった子どもたちも、コースを周回するごとに上手にバランスが取れるように。閉会式ではプレゼントされたメダルを手に、笑顔いっぱい教室を終えました。



## 体験を通して防災について学ぶ

—北中学校防災体験教室—  
(菊沢さずなプロジェクト実行委員会)

2月25日、市立北中学校において2年生の生徒を対象とした防災体験教室が開催されました。

本教室は、社会体験活動を通じて主体的な生き方などの学びを深める「マイチャレンジ」の一環として行われたもので、「菊沢さずなプロジェクト」のメンバーが講師を担当。

生徒たちは、非常用持ち出し品の確認や、避難所で利用するテントや段ボールベッドの組み立て体験、ゲーム形式による避難所運営の模擬体験を通して、防災に関する知識を深めました。

